

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|-------|-----|--------|-------------|-------------|---|--|-------------|----------|---------|----------|
| 新人看護師 | 4月 | 19日(水) | フィジカルアセスメント | 13:30～15:30 | 1. 呼吸・循環・中枢神経・腹部のフィジカルアセスメントを正確に実施する。 2. フィジカルアセスメントを用いて、呼吸・循環・中枢神経・腹部所見の正常と異常を識別する。 3. 体温の正常・異常について識別する。 4. 研修で学んだフィジカルアセスメントを臨床で実践することを明言する。 | 1. 気道の正常・異常を述べる。 2. モデル人形を用いて、呼吸の視診・聴診・触診が正確に実施する。 3. モデル人形を用いて、正常呼吸音と異常呼吸音の違いを識別する 4. 酸素解離曲線とSpO2を関連付ける。 5. 循環の評価を、視診・脈診・触診を用いて正確に実施する 6. 意識レベルをスケールで評価する。 7. 神経学的所見(瞳孔・麻痺)の評価を正確に実施する。 8. 腹部所見の評価を、視診・触診・聴診で正確に実施する。 9. 異常体温時(低体温・高体温)を識別する。 10. 症例を用いて問診内容を列挙する。 | 中田集中ケア認定看護師 | 総合研修センター | 講義演習 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 4月 | 27日(木) | 看護必要度 | 13:30～14:30 | 重症度、医療・看護必要度の評価ができ、記録ができる | 1. 重症度、医療・看護必要度の目的について説明できる 2. 重症度、医療・看護必要度の定義について説明できる 3. 重症度、医療・看護必要度の選択肢の判断基準について説明できる 4. 重症度、医療・看護必要度の判断に対しての留意点が説明できる 5. 重症度、医療・看護必要度の根拠となる記録について説明できる 6. 重症度、医療・看護必要度について学んだことを実践に活用しようと思表示ができる | 佐々木病床管理看護師長 | 会議室① | 講義 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 5月 | 11日(木) | 与薬(内服薬) | 10:00～11:00 | 安全に医師の指示に基づいた正しい与薬ができる | 1. 医師が指示した内容であるか確認することができる 2. 与薬の目的を理解し、与薬の説明できる 3. 患者に与薬をすることの同意を得ることが説明できる 4. 与薬方法を誤ると人体に悪影響を及ぼすことが説明できる 5. 薬剤の分類が説明できる 6. アレルギーの有無を確認することができる 7. 投与後の薬剤の残留や誤嚥がないかの確認が説明できる 8. 投与後の看護記録が実施が説明できる 9. 薬剤の種類により、投与方法に違いがあることが説明できる(水剤、舌下錠) 10. 安全に正しい与薬をしようと思表示ができる | 橋本副看護師長 | 総合研修センター | 講義 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 6月 | 30日(金) | 3ヶ月フォローアップ | 13:30～14:30 | 3か月目の自己の看護を振り返り、今後の活動に繋げる | 1. 3ヶ月間の自分の成長を認めることができる 2. 仲間の成長を認め支持する 3. 1年後のなりたい自分(達)を表現できる 4. 明日から頑張ろうという気持ちになれたことを表現できる | 教育担当師長 | 総合研修センター | グループワーク | 田野・中田(前) |
| 新人看護師 | 7月 | 19日(水) | 夜勤導入 | 9:00～10:00 | 夜間看護活動の特徴と留意点を理解し、安全に看護実践する為に知識・技術・態度を習得する | 1. 夜間における患者の生活とその特徴を説明できる 2. 夜勤の看護内容を説明できる 3. 看護師個々が自己の健康管理をする必要性を説明できる 4. 夜勤導入に向け達成できていない業務内容を達成しようと思表示ができる | 井上副看護師長 | 総合研修センター | 講義 | 田野・吉田(前) |
| 新人看護師 | 8月 | 31日(水) | 多重課題の対応 | 13:00～15:30 | 1. 複数受け持ちに対して、看護実践をする時の優先順位の判断基準が説明できる 2. 複数受け持ちの優先順位を決めたことを行動化できる | 1-1. 模擬病棟の複数患者の必要な情報が説明できる 2. 1-1に示した行動の優先順位の判断の根拠について説明できる 3. 応援依頼が必要であることが説明できる 4. 事例について応援してほしい事が根拠に基づいて依頼できる 5. 突発事項発生時に適切に判断・行動するために何が重要かを見出すことができる 6. 多重課題に対する自己の課題に気づきを示すことができる | 副看護師長 | 総合研修センター | 演習 | 吉田・中田(前) |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|-------|-----|------------|-------------|-----------------|---|---|-------------------|----------|---------|---------------|
| | 月 | 日 | | | | | | | | |
| 新人看護師 | 9月 | 6日 (水) | 急変時の対応 | 9:00～ 10:30 | 急変時に必要な技術を指示のもとに実践できる | <ol style="list-style-type: none"> 1次救命処置の目的を説明できる 1次救命処置実施時の順序を説明できる 1次救急処置の実践ができる AEDの使用方法が説明できる AEDを使用し、モデル人形に除細動を実施できる 救急時に必要な薬剤について説明できる 院内の救急コールシステムについて説明できる 報告の実施ができる | 救急看護認定看護師 當田晶子 | 総合研修センター | 講義・演習 | 深田・中田 |
| 新人看護師 | 9月 | 29日 (金) | 6ヶ月フォローアップ | 13:30～ 14:30 | 6ヶ月目の自己の看護活動を振り返り今後の活動に繋げることができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人教育チェックリストを用い、今の自分の成長を認めることができる 2. 他者の看護活動を知り、成長を認め、自己の看護活動を振り返ることができる 3. 自己の課題を明確にし、明言できる | 教育担当師長 | 総合研修センター | グループワーク | 中田・田野 (前田) |
| 新人看護師 | 10月 | 31日 (火) | 医療安全(環境KYT) | 9:00～ 10:00 | 危険予知能力を高め事前に防止する能力を身につける | <ol style="list-style-type: none"> 1. KYTの目的を説明できる 2. KYT基礎4ラウンド法について説明できる 3. 設定場面をKYT基礎ラウンド法に基づいて危険予知できる 4. 自己の課題を明確にし、患者の安全を守ることに取り組むことができる | 医療安全係長 | 総合研修センター | 講義・演習 | 深田・中田 |
| 新人看護師 | 12月 | 20日 (水) | 人工呼吸器の管理と看護 | 13:30～ 15:30 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内で使用する人工呼吸器について理解する 2. 人工呼吸器装着中の患者の看護を安全に行う為の知識を習得する | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工呼吸器の種類について説明できる 2. 呼吸器の立ち上げ方が説明できる 3. 呼吸器の名称が説明できる 4. 各アラームの説明ができる 5. 呼吸器トラブル発生時の対応方法が説明できる 6. 看護手順に基づいて、人工呼吸器装着中の患者の体位変換を安全にする方法を述べる 7. 看護手順に基づいて、挿管中の患者の気管内吸引を安全に実施する方法を述べる 8. 安全に人工呼吸器装着中の患者の看護ができると意志表示ができる | 集中ケア認定看護師 | 総合研修センター | 講義・演習 | 田野・吉田 (前田) |
| 新人看護師 | 2月 | 28日 (水) | 1年フォローアップ研修 | 13:30～ 14:30 | 1年間の看護活動を評価し、今後の看護活動に繋げていくことができる。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人チェックリストを用い、実践能力到達度評価、看護実践における技術的側面の評価を用い、今の自分の成長を認めることができる 2. 他者の看護活動を知り、成長を認め、自己の活動を振り返ることができる。 3. 自己の課題を明確にし、明言できる | | 総合研修センター | グループワーク | 田野・吉田 (前田) |

| 経年別 | 研修日 | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|------|----|
|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|------|----|

IVナース研修

| | | | | | | | | | | |
|-------|----|------------|---------|-----------------|------------------------------------|--|---------------|--------------|-----------|----|
| 新人看護師 | 4月 | 13日 (木) | 安全管理 | 13:30～ 14:30 | 輸液管理・血管確保が安全にできる | <ol style="list-style-type: none"> 1. エラー防止対策の基本的な考え方が説明できる 2. 輸液準備段階注射薬の種類の確認方法が説明できる 3. ミキシング時の確認方法が説明できるダブルチェックの方法が説明できる 4. 患者情報を見逃すことで、二次的被害を与えることがあることが説明できる 5. 輸液ライン作成時の注意点が説明できる 6. 患者氏名の確認方法が説明できる 7. 誤投与を防止する方法が説明できる 8. 神経損傷防止対策の方法が説明できる 9. 滴下確認の方法が説明できる 10. 実施後の患者への説明内容が説明できる 11. アナフィラキシーショックへの備えが説明できる 12. 輸液皮下露出時の対応の方法が説明できる | 東医療 安全管理係長 | 会議室① | 講義 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 4月 | 14日 (金) | 感染管理 | 13:30～ 14:30 | 静脈注射・輸液管理時に必要な感染管理ができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 末梢静脈カテーテルに関連した感染について説明できる 2. 末梢静脈カテーテルに関連した感染の発生要因が説明できる 3. 感染防止対策の実際が説明できる 4. 標準予防策の遵守の必要性が説明できる 5. 針指し防止が必要でことが説明できる 6. 針刺し後の対策方法が説明できる | 感染管理認定 看護師 | 会議室① | 講義 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 5月 | 1日 (月) | 薬剤の基礎知識 | 13:30～ 14:30 | 輸液療法に関する薬剤の知識を得る | <ol style="list-style-type: none"> 1. 注射薬の投与経路と薬物の血中濃度推移の関係が説明できる 2. 注射薬の表示と添付文書について説明できる 3. ハイリスク薬について説明できる 4. 配合禁忌薬について説明できる 5. 誤薬のリスクが高い薬剤を説明できる 6. 毒薬・劇薬の管理方法を説明できる 7. 麻薬・向精神薬の管理方法が説明できる | 河相薬 剤師 | 総合研修 センター | 講義 | 吉岡 |
| 新人看護師 | 5月 | 31日 (水) | 注射実施 研修 | 13:30～ 15:00 | 点滴準備・点滴管理の知識を習得し、手順に基づき安全に点滴が実施できる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要物品の説明ができる 2. 薬剤の確認ができる 3. ミキシングを手順に基づいて実施できる 4. プライミングを手順に基づいて実施できる 5. 患者の確認方法が説明できる 6. 点滴からの側注を手順に基づいて実施できる 7. 輸液のボトル交換(自然滴下)を手順に基づいて実施できる 8. 輸液ライン管理を手順に基づいて実施できる 9. 点滴刺入部の観察方法を説明できる | 副看護 師長 | 総合研修 センター | 講義・演 習 | 深田 |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|-------|-----|------------|---------------|-----------------|--|---|--------------|----------|-------|-------|
| 新人看護師 | 6月 | 14日 (水) | 注射実施 研修 | 13:30～ 15:00 | 1. 静脈留置針を使用した血管確保が実施できる 2. 注意点を理解し、安全にワンシヨット静注ができる 3. 自然滴下の点滴の調整ができる | カルテから指示確認をし、看護手順に基づき、以下が実施できる 1. 正しい静脈留置針の選択ができる 2. 適切な静脈の選択ができる 3. 静脈留置針挿入・固定留置ができる 4. 静脈留置針挿入後の観察ができる 5. 静脈留置針挿入後の患者説明ができる 6. ワンシヨット静注の方法が説明できる 7. ワンシヨット静注の危険性が説明できる 8. ワンシヨット静注前後の患者説明ができる 9. ワンシヨット静注後の患者の観察ができる 10. 点滴の自然滴下の調整の仕方が説明できる 11. 正しい滴下の必要性を説明できる | 副看護師長 | 総合研修センター | 講義・演習 | 深田・吉田 |
| 新人看護師 | 8月 | 9日 (水) | 輸液ポンプ・シリンジポンプ | 13:30～ 15:30 | 輸液・シリンジポンプが安全に使用できる方法を学び、臨床で使用できる | 1. 輸液ポンプの使用方法が説明できる 2. 輸液ポンプのアラーム対応方法が説明できる 3. 輸液ポンプ使用中の輸液ボトル交換時の注意点が説明できる 4. 輸液ポンプ使用中のボトル交換ができる 5. シリンジポンプの使用方法が説明できる 6. シリンジポンプのアラーム対応が説明できる 7. シリンジポンプ使用中のシリンジ交換ができる 8. 輸液ポンプ・シリンジポンプを使用した輸液管理で使用前、使用時、輸液終了後の一連の行動が説明できる 9. 輸液ポンプの借用・返納方法が説明できる 10. 病棟でチェックリストを用い、他者評価を行い、輸液・シリンジポンプ一連の行動を実施できる 11. 輸液・シリンジポンプの使用に関する自己の課題を述べる事が出来る 12. 指導を受けながら病棟の患者に 輸液・シリンジポンプが安全に使用ができる | 臨床工学技士・副看護師長 | 総合研修センター | 講義・演習 | 中田・吉田 |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|-------|-----|------------|----------------------------------|-----------------|---|--|-------------|----------|-------|-----------|
| 新人看護師 | 1月 | 19日 (金) | ヘパリンロック・生食ロック CVポートの穿刺・固定・ロック、抜針 | 13:30～ 14:30 | 1. ヘパリンロックや生食ロックが安全に正確に実施できる 2. CVポートを理解し、穿刺、固定ロック、抜針が確実にできる | <ol style="list-style-type: none"> 1. ヘパリンロックの目的が説明できる 2. ヘパリンロック時の必要物品について説明できる 3. 使用薬剤について説明できる 4. ヘパリンロックの方法について説明できる。 5. ヘパリンロック後の観察の必要性が説明できる 6. ロックする場合、生理食塩水とヘパリン液との違いが説明できる 7. CVポート留置の目的が説明できる 8. CVポート穿刺の必要物品が説明できる 9. CVポートの位置を視診・触診で確認し、穿刺部位のめやすを決めることができる 10. 垂直に刺すための調整ができる 11. ポート周囲の皮膚の障害(熱感・発赤)の有無を確認できる 12. 血液の逆流と自然滴下で開通状況の説明ができる 13. 患者の個別性に応じた固定方法の選択が説明できる 14. ポートの固定で患者の活動が制限されない固定方法の選択が説明できる 15. ポート針のヘパリンロック(生食ロック)の方法が説明できる 16. ポート針を手順に基づき安全に抜針できる | がん化学療法認定看護師 | 総合研修センター | 講義・演習 | 深田・吉田 |
| 新人看護師 | 3月 | 7日 (水) | KCLインスリンなど身体への影響が大きい薬剤 | 13:30～ 14:30 | KCLやインスリン等身体への影響が大きい薬剤の知識を深め、安全に正しく点滴静脈注射が患者に実施できる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院採用のインスリンについて説明できる 2. インスリンの製剤の種類と薬効について説明できる 3. インスリンの薬効の持続時間が異なり、誤薬、過剰投与により、血糖コントロール不良になることが説明できる 4. インスリンの正しい使用・管理が必要であることが説明できる 5. 当院採用のカリウム製剤について説明できる 6. カリウム製剤の使用方法について説明できる 7. 投与方法・量を間違えることで身体に及ぼす影響について説明できる | 薬剤部 | 総合研修センター | 講義 | 田野・深田(前田) |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 会場 | 研修内容 | 担当 |
|--------|-----|--------|-------------------------|-------------|--|---|--|-----------|----------|-------|
| 2年目看護師 | 10月 | 11日(水) | 循環動態への影響が大きい薬剤知識 | 17:30～18:30 | 循環動態への影響が大きい薬剤知識を深め、安全に患者に使用できる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院採用の循環動態への影響が大きい薬剤が説明できる 2. 医師の指示に基づき実施できる行為が説明できる 3. 医師の立ち合いのもとでのみ実施できる行為はどのような時が説明できる 4. 看護師に求められる能力について説明できる 5. 薬剤の投与速度が患者の状態変化をもたらす可能性が説明できる | 薬剤部 | 総合研修センター | 講義 | 田月・宮本 |
| 2年目看護師 | 1月 | 10日(水) | がん化学療法（ポトル交換・ポートの抜針）80分 | 17:30～18:30 | <ol style="list-style-type: none"> 1. がん化学療法の投与管理に必要な専門的知識を習得する 2. エビデンスに基づいた抗がん剤の投与管理を実施し、自部署での看護実践に活かすことができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. がん化学療法で使用される薬剤の種類と特性について資料もとに述べることができる 2. 抗がん剤と一般薬の違いについて資料をもとに説明できる 3. がん化学療法中の副作用と時期について資料をもとに述べるができる 4. がん化学療法の目的、治療計画（レジメン）の見方について資料をもとに説明できる 5. 肝がん剤による暴露予防の防止策について述べるができる 6. 抗がん剤の暴露予防の必要性を理解し、正確に抗がん剤のポトル交換ができる 7. 抗がん剤の急性毒素(血管外漏出)の予防と対応について説明できる 8. CVポートの仕組みを理解し、説明できる 9. 正確に抗がん剤使用後のCVポート針の抜針ができる 10. 研修で学習したことを現場で活用すると意志表示ができる | 薬剤部 | 総合研修センター | 講義 | 上原・宮本 |
| 2年目看護師 | 1月 | 15日(月) | がん化学療法（ポトル交換・ポートの抜針）60分 | 17:30～18:30 | | がん化学療法認定看護師 | 総合研修センター | 講義 | 上原・宮本 | |
| 2年目看護師 | 1月 | 29日(月) | がん化学療法（ポトル交換・ポートの抜針）60分 | 17:30～18:30 | | がん化学療法認定看護師 | 総合研修センター | 講義・演習 | 上原・宮本 | |
| 2年目看護師 | 2月 | 21日(水) | 麻薬・レスキュードーズ | 17:30～18:30 | | 麻薬の点滴静注、レスキュードーズの知識を深め、確実に安全に患者に実施ができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 麻薬の静脈注射、点滴静脈注射ができる範囲を説明できる 2. 麻薬施行前のバイタルサイン、呼吸状態の観察の必要性が説明できる 3. 呼吸抑制出現時に備えた観察・説明ができる 4. 麻薬・向精神薬取締法に基づく取扱いが説明できる 5. 麻薬拮抗剤について理解し、必要時準備が必要であることが説明できる 6. 麻薬注射の投与ルートが説明できる | 緩和ケア認定看護師 | 総合研修センター | 講義 |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 |
|--------|-----|--------|-------------------|-------------|---|--|-----------|----------|----------------|-------|
| | 月 | 日 | | | | | | | | |
| 2年目看護師 | 5月 | 17日 | メンバーシップ研修 | 13:30～15:00 | 1. 日々の看護を振り返りメンバーシップとは何かを理解する。 2. メンバーシップを遂行するための自己の課題を明らかにする | 1. メンバーシップとは何かを説明できる 2. チームメンバーとしての役割と責任について説明できる 3. メンバーシップを身に付けるための方法を説明できる 4. メンバーとしての自己の課題を明確にしてメンバーシップを発揮しようと意志表示ができる | 院外講師三浦麗子殿 | 総合研修センター | 講義 | 前田 |
| 2年目看護師 | 6月 | 19日(水) | フィジカルアセスメント | 13:30～15:00 | 患者に必要なアセスメントができ、実践に活かすことができる | 1. フィジカルアセスメントの必要性を説明できる 2. フィジカルアセスメントで得られた情報を疾患に関連づけて説明できる 3. フィジカルアセスメントで得られた情報から緊急度の判定をした理由を説明できる 4. 系統立てた評価がタイムリーに必要な説明できる 5. フィジカルアセスメントで得られた情報から看護師の行動が説明できる 6. 研修で学習したことを臨床で活用すると意志表示ができる | 田向診療看護師 | 総合研修センター | 講義・演習 | 上原・田月 |
| 2年目看護師 | 11月 | 8日(水) | ケースレポート発表会(各病棟1例) | 13:30～16:00 | 1. 受け持ち患者の看護を振り返り、看護とは何を考えることができる 2. 看護過程の展開を研究論文形式で纏めることができ、プレゼンテーションの方法を学ぶ | 1. 患者に必要な看護を考え、実施できたことを研究論文形式にまとめる 2. 限られた時間内にプレゼンテーションを実施できる 3. 他部署の発表を聞くことで、自分の看護を振り返ることができる 4. 質疑応答に応えることで、看護実践の振り返りを深めることができる 5. ケースレポート発表会を振り返り、今後の課題を明確にできる (病棟師長から取り組んだ課題の評価を依頼) | 教育担当看護師長 | 総合研修センター | 発表(看護師長の参加を依頼) | 田月・宮本 |

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------|------------|----------|-----------------|---|---|------------------|--------------|----|-------------------|
| 2 年 目 看 護 師 | 3 月 | 14日 (水) | プリセプター育成 | 13:30～ 14:30 | 次年度のプリセプターとしての役割 を果たすために必要な基礎的な知 識を習得する | <ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプターシップの目的を説明できる 2. プリセプターシップの目標を説明できる 3. プリセプターの役割を説明できる 4. プリセプターシップの年間計画について説明できる 5. 新人教育プログラムについて説明できる 6. 自己の課題を明確にして、明言できる | 教育担 当看護 師長 | 総合研修 センター | 講義 | 上 原・ 宮 本 |
|----------------------------|--------|------------|----------|-----------------|---|---|------------------|--------------|----|-------------------|

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 受講対象者 | 時間 | 目的 | 目標 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 |
|--------|-----|--------|---------|-------------------------|-------------|-------------------------------------|---|------|---------|-------|
| 3年目看護師 | 7月 | 5日(水) | プリセプター会 | 初めてのプリセプターまた、部署で参加を要する者 | 13:30～14:30 | プリセプター活動における自己の課題と対策を明確にできる | <ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプター評価表を用いてプリセプター活動を評価する 2. 他のプリセプター活動を知り、自分のプリセプター活動に関連づける 3. 今後のプリセプター活動の課題と対策を見出しことができる 4. 自己の課題を明言できる | 会議室2 | グループワーク | 上原・田月 |
| 3年目看護師 | 12月 | 21日(水) | 看護を語ろう! | 3年目全員 | 13:30～15:00 | 自分の看護を振り返ることができ、今後の看護実践に活かすことができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を通して、自分の目指している看護と現状を考えることができる 2. 自分の気づいたことを他者に伝えることができる 3. 自分が目指している看護を達成するために課題を見つけ出すことができる | 会議室2 | グループワーク | 宮本・上原 |
| 3年目看護師 | 3月 | 8日(水) | プリセプター会 | 初めてのプリセプターまた、部署で参加を要する者 | 13:30～14:30 | プリセプターとしての活動を振り返り、これからの自己の課題を明確にできる | <ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプター評価表を用いてプリセプター活動を評価する 2. 他のプリセプター活動を通して得た、自分の学びを説明する 3. 仲間の成長を認め、承認する 4. 自己の役割を果たすための課題を明言できる | 会議室2 | グループワーク | 上原・田月 |

| 経験別 | 研修日 | | 研修名 | 受講対象者 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 |
|----------------------------|-----|-----------|-----------|----------|------------|---|---|--------|----------|------|-------|
| | 6月 | 7日 (水) | | | | | | | | | |
| 4 年 目 看 護 師 | 6月 | 7日 (水) | リーダーシップ研修 | 概ね4年目看護師 | 1330～15:00 | リーダーの役割が理解でき、看護業務を円滑に遂行するためのリーダーシップの取り方がわかる | <ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーシップについて説明できる 2. リーダーの責任と役割について説明できる 3. リーダーに求められる能力について説明できる 4. リーダーとしての自己の課題を明確にし、リーダーシップを発揮しようとする意志表示ができる | 三浦麗子先生 | 総合研修センター | 講義 | 前田・宮本 |

| 経年別 | 研修日 | | 研修名 | 受講対象者 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 |
|--------|-----|--------|-------------------|----------------------------------|-----------------|--|---|---------|----------|------|-------|
| 5年目看護師 | 11月 | 15日(水) | 退院支援 | 5年目看護師 | 13:30～ 14:30 | 入院患者・家族の意向を踏まえ、他職種・地域との連携を図り、円滑な退院支援が行えるように必要な知識、スキルを習得する | <ol style="list-style-type: none"> 1. 退院支援・調整が求められる背景が説明できる 2. 退院支援・調整に関する知識、技術を学ぶ 3. 自部署で積極的に退院支援・調整を実施していること意志表示ができる | 久代玲子殿 | 総合研修センター | 講義 | 上原・田月 |
| 5年目看護師 | 1月 | 23日(月) | 固定チームナーシング発表会120分 | 小集団活動リーダー各部署1名は発表各部署看護師長参加可能な看護師 | 13:30～ 15:30 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 小集団活動の成果を発表することが出来る 2. 実施した固定チームナーシング発表会を通して、自己およびチームの課題を明確にする | <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年間の小集団活動をパワーポイント7分以内で発表できる 2. 他部署の活動発表から、自部署の課題を明確にできる 3. 活動の課題解決に向けて、計画を示す | 山本喜志恵先生 | 総合研修センター | 発表会 | 田月・上原 |

| 研修日 | | 研修名 | 受講対象者 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 | |
|-------|----|------------|------------------|--------------------------------|-------------|---|---|---------|----------|----|-------|
| トピックス | 6月 | 2日 (水) | 看護倫理(90分) | 新人看護師と参加可能な看護師 | 14:00~15:30 | 医療現場における倫理を学ぶ2. 高い倫理観に基づいた質の高い医療が提供できる | 1. 倫理とは何かについて説明できる 2. 倫理上のジレンマを表現できる 3. 医療現場における倫理上の問題に気づきを示すことができる 4. 倫理上の問題について問題提起ができる 5. 倫理的問題の解決に向け、権利擁護に向けた行動をとる重要性が説明できる | 近藤真紀子先生 | 総合研修センター | 講義 | 渡邊・内田 |
| | 7月 | 12日 (水) | 固定チームナースング(120分) | 新人看護師5年目看護師で出席可能な方前年度参加出来ない看護師 | 13:30~15:30 | 1. 固定チームナースングが理解でき、チームの一員として、看護業務が遂行できる 2. 固定チームナースングにおけるメンバー・リーダーの役割を理解し、役割が遂行できる | 1. 固定チームナースングの目的を説明できる 2. 固定チームナースングの5つの定義について説明できる 3. 固定チームナースングの定義・役割・業務について説明できる 4. チームの目標達成に向けて自己の役割が説明できる 5. チームによる支援体制が説明できる 6. 小集団活動をしていこうと意志表示ができる | 山本喜志恵先生 | 総合研修センター | 講義 | 當田・内田 |

| 研修日 | | 研修名 | 受講対象者 | 時間 | 目的 | 目標 | 講師 | 研修会場 | 研修内容 | 担当 | |
|-------------------------------|-----|--------|------------|--------------------|-------------|-------------------------------|--|---------|----------|------|-------|
| 看護研究・ 経鼻経管栄養チューブ・ 認知症看護 | 11月 | 22日(水) | 経管栄養チューブ挿入 | 2年目以上で研修終了していない看護師 | 13:30～14:30 | 1. 経鼻経管栄養チューブを安全に挿入できる(3年目以上) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔・咽頭の解剖を説明できる 2. 経鼻経管栄養を適応とする患者を説明できる 3. 栄養チューブ挿入に必要な物品を説明できる 4. 栄養チューブ挿入時の安全な体位が説明できる 5. 栄養チューブ挿入方法を手順に従って説明できる 6. 口腔内および咽頭で経鼻経管栄養チューブ挿入後が迷走していないか口腔内を観察ができる 7. 経鼻経管栄養チューブ挿入確認のための胃液の吸引方法を説明できる 8. 経鼻経管栄養チューブ挿入後の気泡音による4か所確認の部位と方法が説明できる 9. 栄養チューブ挿入後、気泡音が確認できなかった場合の対処方法が説明できる 10. 「経鼻栄養チューブ確認フロー(留置時)(注入時)」を説明できる 11. 経鼻経管栄養チューブから栄養剤注入方法を説明できる 12. 栄養剤注入時の観察項目が説明できる 13. 学習結果を臨床現場で活用できると明言できる | 龍里認定看護師 | 総合研修センター | 講義 | 渡邊・當田 |
| | 5月 | 9日(火) | 看護研究 | 今年度看護研究をしている看護師 | 10:00～17:00 | 質の高い看護を提供するために研究的姿勢を養う | 看護研究計画書の作成ができる | 島根県立大学 | 総合研修センター | 個人指導 | 吉岡 |
| | 9月 | 12日(火) | 看護研究 | 今年度看護研究をしている看護師 | 10:00～17:00 | 質の高い看護を提供するために研究的姿勢を養う | 研究結果を分析できる | 島根県立大学 | 総合研修センター | 個人指導 | 渡邊・當田 |
| | 12月 | 15日(金) | 看護研究 | 今年度看護研究をしている看護師 | 10:00～17:00 | 質の高い看護を提供するために研究的姿勢を養う | 研究論文の作成ができる | 島根県立大学 | 総合研修センター | 個人指導 | 渡邊・當田 |
| | 2月 | 17日(土) | 看護研究 | 今年度看護研究をしている看護師 | 13:30～16:30 | 質の高い看護を提供するために研究的姿勢を養う | 看護研究を纏めることができ、院内発表ができる | 島根県立大学 | 総合研修センター | 発表会 | 渡邊・内 |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|---------------------------|--|-----------------|--|---|----------------|------------------|----|----|
| 5月 | 24日 | 当院における認知 称患者への取り組 み | 新人看護師と H28年度の研 修に参加でき るいない看護 師 | 13:30~14: 30 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケア加算1の概要について理解する 2. 認知症ケア加算体制における病棟での行動を理解する 3. 入院することで生じる環境の変化が認知症患者にどのような影響を及ぼすかを理解する 4. 認知症患者への情報収集の手段について理解する 5. 認知症患者に対する看護計画立案について理解する | <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケア加算1の概要について説明できる 2. 認知症ケア加算体制における病棟での行動が説明できる 3. 急性期病院に入院した認知症患者が置かれる環境について説明できる 4. 認知症患者がBPSDを発症する原因について説明できる 5. 認知症患者への情報収集の方法が説明できる 6. 認知症患者に対する看護計画立案方法について説明できる 7. 認知症患者に病棟で実施すると意志表示ができる | 認知症看護 認定看護師 | 総合研 修セン ター | 講義 | 吉岡 |
|----|-----|---------------------------|--|-----------------|--|---|----------------|------------------|----|----|